

今月のテーマ

スピードの特性を知りましょう

「スピード」は、車体重量の重たい事業用自動車には大きな影響を及ぼします。法定速度を遵守し、十分な車間距離を保つことが安全運転に繋がります。

スピードが運転に与える影響

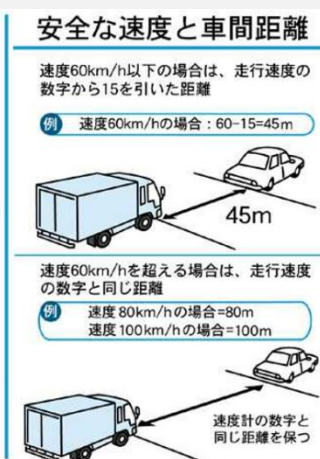
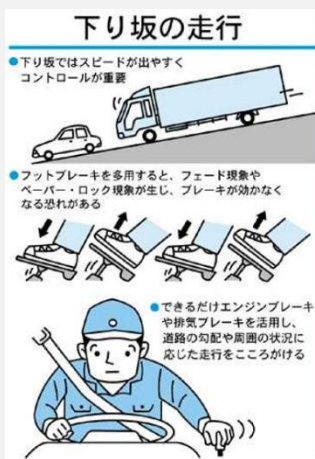
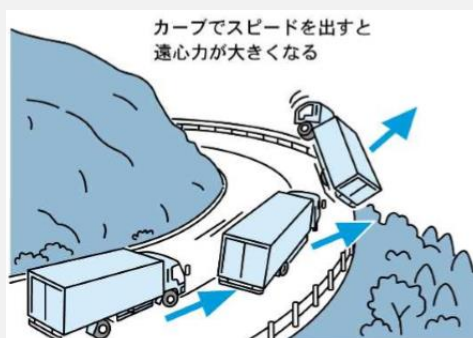
事業用自動車は、車体重量が重く、重心が高いなどの特徴があることから、スピードの出しすぎによる影響は大きく、衝撃力や遠心力が大きくなります。重大事故の危険性が非常に高くなりますので、スピードが運転に与える影響をよく理解し安全運転に努めましょう。

- 衝撃力はスピードに比例して大きくなりますが、車両重量の大きい事業用自動車は、**衝撃力はさらに大きくなり、重大事故につながります。**
- 事業用自動車は、車体重量が重たく、積荷によっては重心が高い場合もあり、**カーブでは遠心力が強く働くこととなり、横転などの危険性が高い**といえます。
- 制動距離はスピードに比例して**長くなり、追突の危険性が高くなります。**
- 雨天時には、**ハンドルもブレーキも効かない**ハイドロブレーキング現象などを生じるため、危険性がさらに増します。

スピードをコントロールした運転

スピードの出しすぎは、重大事故の危険性が非常に高くなることから、法定速度を遵守し、安全な速度と車間距離を保つことが必要です。

- 安全な運行のためには、道路交通法に定められている**最高速度の遵守**が基本です。
- スピードの出やすい**下り坂ではブレーキ操作などに注意**し、また、スピードの低下しやすい**上り坂ではスピードメーターをチェック**するなど、スピードをコントロールすることが必要です。
- 状況に応じた**安全な速度、十分な車間距離を保つ**ことが重要です。
- 荷物を積載した状態で下り坂を走行すると、通常よりもスピードが速くなるため、減速しようとする通常より大きなブレーキ力が必要になります。停止するために**フットブレーキを使い過ぎると、ブレーキライニングが過熱しブレーキが効かなくなる危険性があるため、エンジンブレーキを併用**する等の適切な運転操作の必要性があります。
- 上り坂においてはスピードが低下しがちであるため、後続車がいる場合は、**道を譲る、登坂車線がある道路では登坂車線を利用すること**も必要です。



国土交通省HPより

発行者

上杉行政書士事務所 代表 上杉 麻美
神奈川県横浜市旭区左近山16-1 1-30-806
TEL&FAX 045-442-3592

行政書士法人シグマ 代表社員 阪本 浩毅
東京都中央区銀座一丁目13番1号
ヒューリック銀座一丁目ビル4階
TEL 03-6868-7256 FAX 03-6800-3604

ご用命・ご相談がございましたらお気軽にお問合せ下さい

一般社団法人 運輸安全総研トラバス
Mail tb@trubus.org ホームページ <http://trubus.org/>

トラバス